






日本毛織（株）印南工場 環境保全対策実施報告書

1. 環境保全対策実施状況（平成25年度）

(1) 大気汚染防止対策

推進の内容	実施の成果
<p>①ボイラ日常点検及び4ヶ月毎の定期点検・燃焼調整・排ガス分析を継続実施しています。燃料は都市ガスであり、SOxの排出はありません。またボイラ更新(H22年、H23年)に伴い、低NOxバーナーを採用しています。</p> 	<p>排ガス分析結果から判断して良好な運転ができました。NOx排出量は従来機と比較して約20%削減できており、バーナーの燃焼調整により約1%の省エネが図れています。</p>
<p>★②省エネ推進によるCO2削減対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変圧器6台を高効率型（アモルファス・トランス）に更新しました。 ・エアコンプレッサー11kWをINV型に更新しました。 ・排水ブロワーをINV化することで最適制御を行いました。 ・空調電力削減のため不要部分に間仕切りカーテンを設置しました。    	<p>平成25年度のエネルギー原単位は前年比104.7%（電気101.3%、ガス109.9%）、CO2排出量原単位は109.8%と前年と比較して悪化しました。</p> <p>震災以降の原発停止、火力発電の稼働による関西電力のCO2排出係数が%増加したことも影響しています。</p> <p>エネルギー増加の原因としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①納期対応による休日出勤・時間外労働の増加 ②設備の老朽化による不良箇所の増加による非効率生産 <p>が大きく影響しました。</p> <p>平成26年度は上記について改善を行い上期のエネルギー原単位を約8%削減できています。</p>

<p>③毎月1回各部門の課長、係長をメンバーとし、省エネ会議を開催しています。省エネ対策や啓蒙活動を推進しました。</p>	
---	--

(2)水質汚濁防止対策


推進の内容	実施の成果
<p>①排水処理装置の日常点検、定期点検及び測定機器の定期保守を実施しました。</p>	<p>排水処理装置の適正な運転、排水ピットの改修及び排水汚泥の脱水機更新により工場排水の安定した処理と漏洩防止が図れました。</p>
<p>★②染色排水の地下浸透を予防するため、排水ピットの塗装・補修を行いました。</p> 	
<p>③排水処理装置（活性汚泥）の脱水機を更新し、含水率の低減が図れました。</p> 	

(3)騒音、振動防止対策


推進の内容	実施の成果
<p>①協定測定点以外に工場独自で測定点を設定し騒音測定を行いました。</p>	<p>騒音測定結果は規制値を大きく下回っており、良好な状態が維持できました。</p>

(4)産業廃棄物対策

推進の内容	実施の成果
<p>①排水処理装置から発生する汚泥のセメント原料化は継続しています。また排水処理での薬品の投入量を適正化し、排出汚泥を減量しました。</p>	<p>汚泥発生量を6.5%削減できました。またリサイクル率は99%以上を維持できています。</p>

<p>①廃棄物の分別を徹底し、焼却・埋立処分している廃プラのリサイクル化を推進中です。</p> 	<p>廃プラについては既に埋立処分は廃止していますが、さらにサーマルリサイクル化→固形燃料化を推進中です。</p>
---	---

(5)緑化対策

推進の内容	実施の成果
<p>①樹木・緑地の剪定・除草、害虫駆除および渇水期の散水を行いました。</p> 	<p>ニッケ機械製作所の移転工事がありましたが、緑地面積の確保と樹木の剪定、除草により工場緑地の維持管理ができました。また外部からの景観も向上しました。</p>
<p>②来客用駐車場のグラスパーキング(芝生)の除草等維持を継続しました。</p> 	

(6)地域連絡会

推進の内容	実施の成果
<p>①平成25年8月と平成26年2月の2回、当工場周辺の町内会長様に参加いただき、地域連絡会を行いました。</p>	<p>工場の実態を理解していただき、情報交換ができました。</p>
<p>②「トライやるウィーク」で中学生、「インターンシップ」で高校生、「教員の民間研修」で教職員を受け入れました。</p>	<p>地域社会への貢献活動ができました。</p>

(7)その他

推進の内容	実施の成果
<p>①環境マネジメントシステム (ISO14001) の外部審査に合格し、継続して運用しています。</p>	<p>環境保全活動を継続実施と従業員の環境への意識向上を図れました。</p>

2. 協定値と実績値の比較

(1) 大気関係

(実績値：最大値または年間総排出量)

項 目		協 定 値	実 績 値
窒素酸化物排出量	(Nm ³ /H)	2.0	0.3
	(t/年)	11.6	2.2

(2) 水質関係

①汚濁負荷量

項 目		協 定 値	実 績 値
COD (kg/日)	通常	283	38
	最大	373	81
BOD (kg/日)	通常	452	15
	最大	596	37
S S (kg/日)	通常	283	9
	最大	373	28
ノルマルヘキサン抽出物質 (kg/日)	通常	147	16
	最大	194	71

② 許容限度

項	目	協定値	実績値
p H	最小～最大	5.8～8.6	6.3～7.3
COD (mg/ℓ)	日間平均	25	8
	最大	35	17
BOD (mg/ℓ)	日間平均	40	4
	最大	55	10
S S (mg/ℓ)	日間平均	25	3
	最大	50	9
ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/ℓ)	日間平均	13	5
	最大	20	13
六価クロム (mg/ℓ)	最大	0.25	<0.02

3. 環境保全活動

(1) 平成26年度基本方針

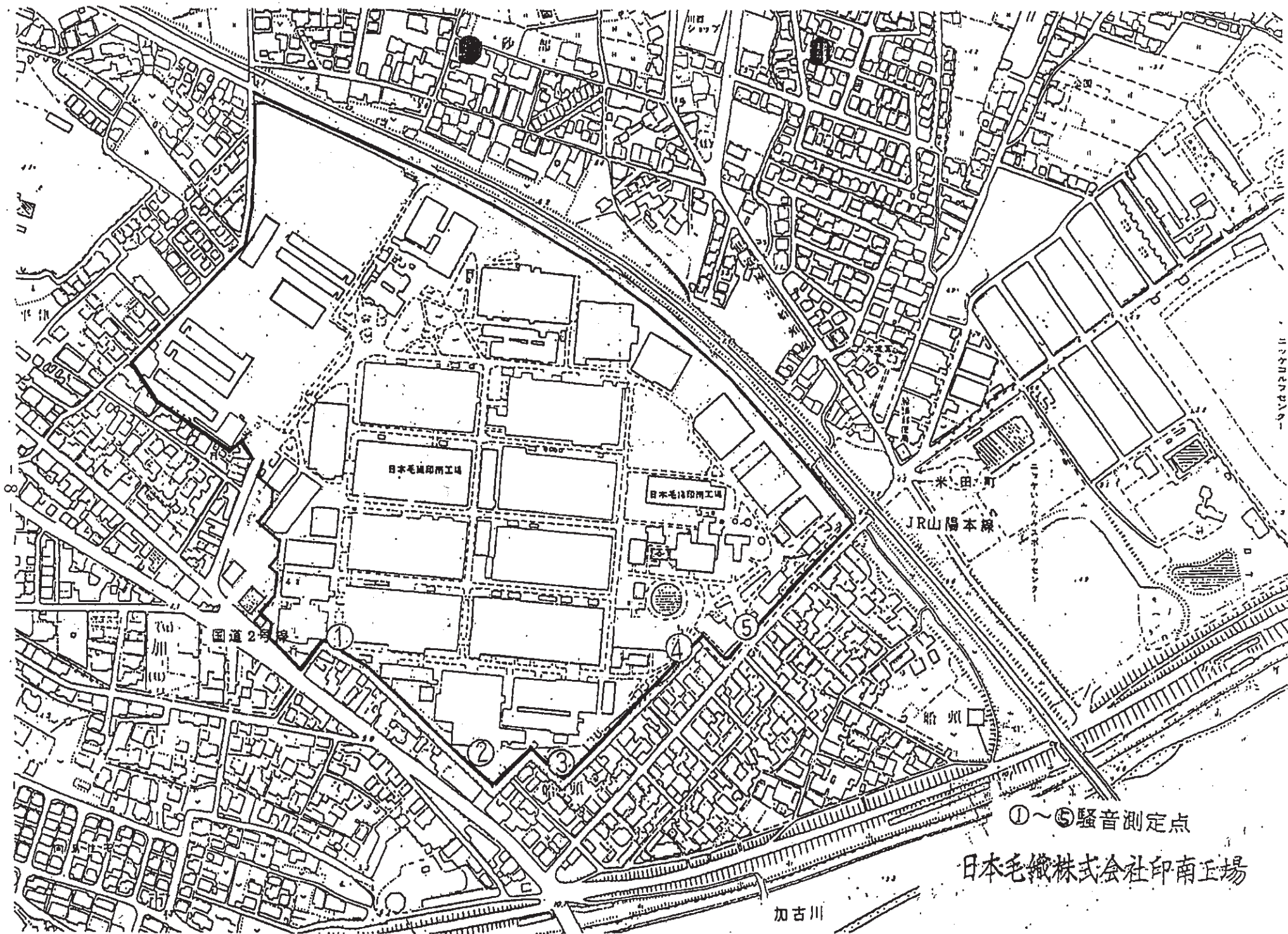
項目	内容
基本方針	当社は、『人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループとして、わたしたちは情熱と誇りをもってチャレンジして行きます』を経営理念としており、環境への配慮と高い企業倫理により社会から信頼される企業グループを指向します。
組織体制	<pre> graph TD FM[工場長] --- ISO[ISO事務局] FM --- EMR[環境管理責任者] FM --- EEC[地球環境工場委員会] EMR --- D1[] EMR --- D2[] EMR --- D3[] EMR --- D4[] EMR --- D5[] EEC --- ESMC[環境整備専門委員会] </pre>

(2) 平成26年度環境保全活動計画

環境保全活動	目標	目標達成のための計画、方策
自動車公害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・低公害車の採用 ・自動車排気ガスの抑制 	<ol style="list-style-type: none"> ① 社有車更新の際は、低公害者を選択 ② 従業員、運送業者に対して、アイドリングストップのPRを継続 ③ 自動車通勤の距離制限
化学物質対策	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質漏洩の未然防止 ・化学物質使用量の削減 	<ol style="list-style-type: none"> ① 化学物質の保管・在庫管理の適正化 ② 施設の維持管理 ③ 微量PCB含有機器の適正保管と保管・処分状況の報告 ④ 電気設備の微量PCB含有分析 ④ PRTR法に基づく化学物質の排出量、移動量の把握の報告



<p>エネルギー対策 (地球温暖化防止対策)</p> <p>廃棄物対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー原単位を2013年度比3%削減 ・廃棄物排出量を2013年度比1%削減 ・リサイクル率を99%維持 	<ul style="list-style-type: none"> ①高効率エアコンプレッシャーへの更新 ②エアコン更新と温度設定の管理 ③高効率変圧器への更新 ④ポンプ・ファンのINVERT制御化 ④LED照明への切替 ⑤スチムトラップ・保温材の点検整備 ⑥エアー漏れ点検と迅速な修理対応 ⑦生産設備の適正運転 ①排水処理汚泥のセメント原料化を維持し、排出汚泥を10%減量 ②廃棄物分別の徹底とリサイクルの高位化 ③事務作業のペーパーレス化推進 ④電子マニフェストの推進
<p>不法投棄防止対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄の撲滅 	<ul style="list-style-type: none"> ①定期的に工場外周の巡回と清掃を行い投棄しにくい環境を維持
<p>緑化対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地、樹木の維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ①樹木の剪定、除草、害虫駆除の実施
<p>グリーン購入</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン購入適合品比率を89%以上にする 	<ul style="list-style-type: none"> ①事務用品、電気機器についてグリーン購入推進 ②再生紙の利用と裏面の使用 ③非対象品から対象品への切替強化
<p>ISO14001環境マネジメントシステム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントシステムの継続運用 	<ul style="list-style-type: none"> ①環境マネジメントシステムの外部審査を受け、継続運用します。
<p>環境教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員、協力会社への省エネ・廃棄物・その他環境改善教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ①教育訓練計画を立案・実行し、進捗管理を行います。
<p>地域社会への参画</p>	<p>地域住民や行政が行う環境保全活動に可能な限り参加する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域連絡会を毎年2回、開催します。 ②「トライやるウィーク」で中学生を受け入れます。
<p>環境コミュニケーション</p>	<p>環境情報の公開に努める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①ニッケグループ環境報告書の中で当工場の報告を行います。 (詳細版は当社ホームページに掲載)



①～⑤騒音測定点

日本毛織株式会社印南工場

加古川